

# 平成29年度 会派調査研究報告書

(視察先1か所につき1枚)

会派名	協伸クラブ
出席者	興石賢一・山本雄次・木内吉英
事業名	女性消防団について
事業区分	①研究研修 ②調査

## 1. 韮崎市での課題と研修・調査の目的

本市では消防団員のなり手不足が深刻化している。  
なり手不足解消の一つとして、女性消防団員の加入や活動を積極的におこなっている静岡県取り組みについて調査をする。

## 2. 実施概要

実施日時	平成30年2月21日(水) 10:00~12:00
視察先	公益財団法人 静岡県消防協会
担当部局	
報告内容	<p>1. 運営状況</p> <p>平成29年10月1日現在、静岡県内の消防団は35消防団・577分団で、消防団員数は定員22,164名のところを、実員20,000名となっている。 うち女性消防団員は、29消防団に441名が所属している。 女性消防団の主な活動内容として、平常時は、火災予防の広報活動・救命講習の指導・防災訓練・応急手当訓練指導等をおこなっており、災害時は、後方支援・救護所等での応急手当・情報収集等をおこなっている。</p> <p>2. 男女別消防団員数の推移</p> <p>静岡県では、平成19年10月1日から平成29年10月1日までの10年間、男性消防団員数は21,375名から19,559名の1,816名減、女性消防団員数は222名から441名の219名増となっている。全国的にも、男性消防団員数が減少しているのに対し、女性消防団員数が増加している傾向にある。</p>

考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか）

山梨県内においても、多数の市町村で女性消防団員が増加してきており、女性ならではのさまざまな消防団活動をしている。  
消防団員のなり手不足の解消にもつながると考えられることから、本市においても女性消防団員の加入を検討すべきと思われる。

